

愛知の教育に関する大綱（2021年度～2025年度）（案）

策定の趣旨

- 地方公共団体における教育行政については、地方公共団体の長が責任を持ち、大きな目標や方針を提示する必要があります。
その上で、教育委員会がより専門的な観点から教育行政を行い、地方公共団体の長と教育委員会が役割分担をしながら、地域の実情に応じた教育の振興を図っていくことが必要です。
- これを踏まえ、愛知県では、2016年2月に、教育に関する目標や施策の根本となる方針として、「愛知の教育に関する大綱」を策定し、教育委員会との緊密な連携・役割分担のもと、教育行政の充実を図ってまいりました。
- この大綱の策定から今日までの間に、AIやIoTなどの技術革新や社会のグローバル化、多様化が進展し、更には大規模災害の発生や未曾有の感染症の拡大等、教育を取り巻く環境は大きく変化しました。
- 子供たちが時代を生き抜いていくためには、「生きる力」の基礎となる確かな学力、道徳・倫理性、健やかな体を育成していくことが重要です。
一方で、どんな事態が生じた際にも、子供たちの学びを保障できる教育体制づくりやICTを活用した教育の推進、教員の働き方改革など、社会情勢の変化に適切に対応する課題についても、今後重点的に取り組む必要があると考えます。
- このような考えのもと、この大綱では、「自らを高めること」、「社会の担い手となること」を基本に、豊かな人間性と生きる力を育むことを基本理念として、その実現のために7つの基本的な取組の方向を定め、引き続き愛知の教育の充実を図ることとしております。
- これまで教育委員会と築いてきた取組の成果を踏まえ、新たな大綱のもと、「日本一元気で、すべての人が輝く愛知」の実現を目指し、未来の愛知の担い手となる人の育成にしっかりと取り組んでまいります。

2021年2月 日

愛知県知事 大村 秀章

1 大綱の対象期間

2021年度から2025年度までの5年間

2 基本理念

「自らを高めること」と「社会の担い手となること」を基本とし、ふるさとあいちの文化・風土に誇りをもち、世界的視野で主体的に深く学び、かけがえのない生命や自分らしさ、多様な人々の存在を尊重する豊かな人間性と「知・徳・体」にわたる生きる力を育む、あいちの教育を進めます。

3 基本的な取組の方向

(1) 自ら学びに向かう教育を充実させ、自己の可能性を伸ばす力を育みます

一人一人の個性や生活環境の違いなどに応じたきめ細かな教育に努め、主体的、協働的に学び、深く考えることを通して、様々な課題を解決し、自分らしく生きていく力を育みます。

(2) 人としての在り方・生き方を考える教育を充実させ、実践力を伴った道徳性・社会性を育みます

命を大切にする心や他人を思いやる心、人権を尊重する心などを育て、社会の担い手として多様な人々と手を携えて生きていける、豊かな人間性と確かな実践力を育みます。

(3) 健やかな体と心を育む教育を充実させ、生涯にわたって、たくましく生きる力を育みます

健やかな体と心を育むとともに、生涯にわたって豊かに生きる意欲にあふれ、安全で健康な生活を営んでいくためのたくましさをつちかいます。

(4) ふるさとの魅力やあいちの伝統・文化に学びつつ、技術の進歩に取り組み、社会の発展を支える人を育みます

ふるさとに学び、ふるさとを愛する心を育むとともに、生きていく上での羅針盤となる教育を充実させ、社会の激しい変化の中でも自分をしっかりともって、あいちを担っていく進取の精神を育てます。

(5) 世界とつながり、生き生きと活躍するために必要な力を育みます

グローバル社会において、多様な人々と生活し協働する中で、自分自身のアイデンティティと物事を多面的に捉える見方や考え方を身に付け、あいちや世界を担っていく気概や意欲を育てます。

(6) 子供の意欲を高め、教師の働きがいがある魅力的な教育環境づくりを進めます

子供たちが学ぶ喜びを、教職員が教育者としての誇りを感じられるよう、家庭・地域との連携、教職員の資質・能力の向上、教職員が子供たちと向き合うための条件整備、学校施設・設備の整備等に努めます。

(7) 大規模災害や感染症拡大等の緊急時においても、子供たちが安心・安全に学べることを保障します

大規模災害や感染症の拡大等で学校が通常の教育活動を行えないときでも、ICTの活用など、子供たち一人一人とつながって対応できる、安心して安全な、学びを止めない環境の整備に努めます。